

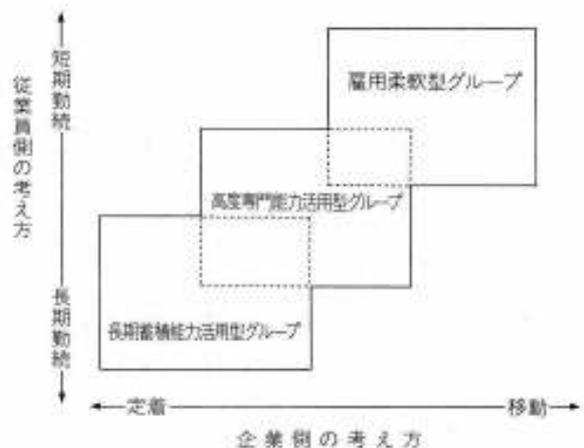
# ピース

## 私の近未来～正規雇用とフリーター～ II

以前、新聞折り込みに右のような広告がありました。浜田・益田地区限定の求人情報誌ですが、「東洋ワーク」という会社の広告が特に印象に残りました。この求人を見て応募した人は、「東洋ワーク」と雇用契約を結び、三重県亀山市の液晶パネル製造の工場や広島県海田町の自動車シート製造工場働きます。液晶パネルと自動車シート、全く違うこれらの製品を「東洋ワーク」が製造しているわけではありません。亀山市の液晶パネルといえば「シャープ」、海田町の自動車といえば「マツダ」です。つまり、「東洋ワーク」という会社は、フリーターを募集し、人材が必要なこれらの大企業に派遣することを主な業務としているのです。近年、新しい雇用形態として登場した、派遣とか請負といわれるのがこれにあたります。

派遣とか請負といわれる雇用形態が、近年急速に増えてきたのにはきちんとした理由があります。これまでの日本は、労働を商品として見ることなく、労働者の尊厳を守るために、労働市場に一定の規制をかけてきました。具体的には、他人が雇用した労働者を自己の指揮命令下で働かせることは、職業安定法で禁止していたのです。ところが、人件費を抑制したい企業からの要求で、1985年に労働者派遣法が制定され、16業種で派遣が合法化されました。さらに、バブル崩壊後、企業は正規雇用の大量リストラとその後フリーターを雇用することで、人件費を抑えてきました。1999年には経済界からの強い要求で、政府も規制を緩和し、すべての業種で派遣が可能になったという流れがあるのです。

最初は単純に正規雇用の方がいいと思っていたけど、どちらにしても働いて生活していくことはたいへんなんかと思いました。フリーターだと収入が安定しなかったりするだけではなくて、少子化が進んだりするなどの社会全体への影響も大きくなりそうなので、フリーターは必要かもしれないけど、難しいところだなあと感じました。やっぱり私は正規雇用の方がいいと思うけど、過労死のようなことが現実にたくさんあると知って、怖いなと思いました。仕事と休みの関係をうまく取っていかなければいけないと思いました。



注：1. 雇用形態の典型的な分類  
2. 各グループ間の移動は可